

令和6年度早池峰地域保全対策事業推進協議会 議事録

1 開催日時

令和7年2月13日(木) 14時00分～15時45分

2 開催場所

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)4階第3会議室(盛岡市内丸13-1)

3 出席者

【協議会構成員(敬称略)】

中嶋 敬治 (早池峰フォーラム実行委員会)  
上平 玲子 (早池峰の未来を考える女性の会)  
菅原 克也 (公益社団法人岩手県バス協会)  
飛知和 比呂志 (一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県支部)  
細田 清 [協議会長] (岩手日報社)  
加藤 重義 (岩手南部森林管理署遠野支署)  
葛西 貴仁 (三陸北部森林管理署)  
工藤 紀恵 [代理出席] (十和田八幡平国立公園管理事務所盛岡管理官事務所)  
佐藤 充 (花巻市大迫総合支所地域振興課)  
及川 憲司 [代理出席] (遠野市環境整備部環境課)  
北舘 克彦 (宮古市川井総合事務所)  
上野 貴之 [代理出席] (岩手県警察本部生活安全部生活環境課)  
立柳 敦 [代理出席] (岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室)  
高瀬 文明 (岩手県県土整備部道路環境課)  
酒井 淳 (岩手県環境生活部自然保護課)  
阿部 真治 (県南広域振興局保健福祉環境部)  
吉田 雅則 (沿岸広域振興局保健福祉環境部宮古保健福祉環境センター)

【随行者(敬称略)】

佐藤 隼人 (岩手南部森林管理署遠野支署)  
畠山 大樹 (三陸北部森林管理署)

【岩手県環境生活部自然保護課】

田頭 征剛 [自然公園担当課長]  
松本 多佳子 [主任主査]  
工藤 航希 [主査]  
小野寺 明音 [主事]

【県南広域振興局保健福祉環境部(事務局)】

奥村 亮子 [環境衛生課長]  
松本 聡 [主任主査]

【当日受付者(一般傍聴者及び報道機関)】

一般傍聴者2名、報道関係者1名

4 内容

(1) 開会

県南広域振興局保健福祉環境部(事務局)奥村環境衛生課長により開会を宣言。

(2) 会長選出

事務局から岩手日報社の細田氏の会長就任について提案を行い承認された。

### (3) 議事

#### ア 令和6年度早池峰地域保全対策事業実施結果

県南広域振興局保健福祉環境部の松本主任主査から資料1により報告。

##### 【概要】

- 早池峰クリーン&グリーンキャンペーンについて、早池峰保全協議会構成機関及び県グリーンボランティアとの官民協働により、マナー啓発、盗採防止パトロール、移入種駆除及び路上等駐車対策の取組みを実施したこと。
- トイレ問題への対応について、携帯トイレサポート早池峰等のボランティア団体が普及啓発及び販売を行ったほか、県が小田越登山口に仮設トイレ等を設置し、小田越登山道 0.5 合目付近の樹林帯には携帯トイレ用の簡易テントを設置したこと。
- 7月13日に高山植物盗採防止合同パトロールを実施したこと。
- 移入植物駆除を実施したこと。

##### 【質疑応答】

- 細田会長（議長・岩手日報社）  
事務局から、今年度の事業について報告がありましたが、今年度の活動を振り返って反省点や、問題点、また来年度の活動に向けてのご提案などについて、皆さんからご発言をお願いします。
- 中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）  
携帯トイレ利用ブースの設置のところで、0.5 合目の樹林帯に簡易テントを設置しているが、ここの使用状況ってというのはどんなふうに把握されているか、よく使われているか、あまり使われていないのか。
- 松本主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）  
使用状況ですけれども、何人使用したかっていうのはちょっと把握してなくて、先日もボランティアの会の方とお話したときに、カウンターをつけたらいいのではないのかってというような意見もいただいたところではあります。ただ、ボランティアの会の方に清掃とかもやっていただいております。使用されているのは間違いないかなとふうに思っております。
- 中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）  
人数は把握していないけれども、そこにあることで使用されているよう打ということですね。
- 細田会長（議長・岩手日報社）  
他にご意見等ありますか。
- 上野生活経済係長（岩手県警察本部）  
7月13日の土曜日に合同パトロールを行ったわけですが、予想外の登山客、多数の方が登山していて、ちょっと異常なくらい多かったのかなって感じはしております。  
先ほどのご説明もありましたとおり、合同パトロールと一緒にいただける自然保護管理員さんの方々から、「今回は雑踏対策等でとてもパトロールする状況にない」ということで参加されませんでした。このような顕示的なパトロールすることには意味があるんですけど、今年度のようなですね、あまりにも人が多すぎる状態ですと、本当にパトロールもままなりません。  
自然保護管理員さんの一部の方からは「来年度以降もし本当にパトロールをするのであれば、やっぱり平日が望ましいので、次の会議の時に話してほしい」と言われたのでこの場で申し上げておきます。  
実際に参加した管轄警察署の署員からも、今回チラシ配りも併せてやるというふうなことで動きましたが、ちょっと人が多くて、とてもじゃないけどもチラシを配れる状況ではなかったと聞いております。

これは提案ですけれども、チラシ配りは非常にいいことだと思いますけれども、登山のパトロールで山道に入る者はですね、チラシ配りをするのではなくてパトロールに専念してもらい、チラシ配りは別個班編成をして、登山口でチラシ配りをする者とかですね、例えば登山があまり得意じゃない方にチラシ配りをやってもらおうとか、或いは、人的に割けないのであれば、無理に登山をしないで広報を重点としてチラシ配りを重点にやるとか、ちょっとそういうこともちょっとご検討していただければいいのではないかなと。

- 松本主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）  
来年度、実際に事業する際は、やり方について検討してから、お知らせしたいと思いますのでよろしくお願いします。
- 細田会長（議長・岩手日報社）  
他にございますか。なければ、事務局は意見等を参考に今後の事業の運営に努めてください。

## イ 部会報告

### (ア) 自動車利用適正化部会

県南広域振興局保健福祉環境部の松本主任主査から資料2により報告。

#### 【概要】

- 早池峰地域自動車利用適正化部会設置要領の改正について説明したところ特に質問意見等は無かったこと。
- 令和6年度の適正化対策の実施結果について説明し、交通規制期間のシャトルバスの運行に支障は生じていなかったが、規制解除後の3連休には、路上駐車でバスがほとんど通れない状況で、事前に連絡して整理して何とか運行できるようになったとの発言があったこと。
- 令和7年度の実施計画(案)について説明し、一部の部会構成委員からの意見で計画(案)を一部修正したこと。
- 交通規制の期間延長に関する検討のため、交通規制の期間延長に係る必要な手続きや検討すべき事項について意見交換を行ったこと。

### (イ) 自然環境保全対策検討部会

岩手県環境生活部自然保護課の田頭自然公園担当課長から資料3により報告

#### 【概要】

- 携帯トイレの運営管理体制について、令和5年度までの検討状況、令和6年度 of 取組及び運営管理体制移行に向けた課題等の整理並びに令和7年度 of 取組(案)を報告したところ、以下のような質疑・意見があったこと
  - ・ 管理体制を行政主体に移行させる場合の課題として、携帯トイレの補充と売上金の回収対応があげられ、対応策として業務委託が考えられる。
  - ・ 業務委託する場合、委託料を捻出する必要がある。
  - ・ 業務すべてを自治体がやるのではなくて、ボランティアと共同で実施していくことで、足りない部分をお互い補いながら対応できるのではないかな。
  - ・ 事務局側で大まかな委託料の算定をしてみてもどうか。
- 携帯トイレの運営管理体制について、どの組織団体が主体になっても、最小限の負担となるように、課題整理と対応方針を引き続き検討していく。
- 携帯トイレ回収ボックスの設置場所について、令和7年度以降の回収ボックスの運営について検討したいと、事務局から提案したところ以下のような意見があった。
  - ・ 小田越登山口での回収量が圧倒的に多く、「早池峰山＝携帯トイレの山」が登山者に定着してきたのではないかな。
  - ・ 委託料については、業務に見合わないということで一度入札不調になっている。
- 花巻市に設置している回収ボックスを一気に撤収するのではなく、段階的に減ら

すことについて検討していく。

#### (ウ) シカ対策部会

岩手県環境生活部自然保護課の田頭自然公園担当課長から資料4により報告

#### 【概要】

- 早池峰シカ関連調査報告（県立博物館）  
センサーカメラによる調査と食痕調査・植生モニタリングの結果について説明し、以下のような質問・意見があった。
  - ・ シカの日撃が増えているのは、シカが活動する範囲が広がったということか。
  - ・ 温暖化の影響などで、シカの行動形態も変化していると言えるか。
- 早池峰山周辺国有林におけるニホンジカ対策事業概要（東北森林管理局）  
東北森林管理局が早池峰山周辺森林生態系保護地域内に設置した植生保護柵の効果に関する検証結果について説明した。
- 早池峰シカ監視員の活動結果について  
監視員による自動撮影カメラ調査の結果と、監視員の報告書の取りまとめた内容を説明し、以下のような質問・意見があった。
  - ・ 清廉ノ滝付近で昨年に引き続きイノシシが確認されていることから、早池峰山にもイノシシが生息し始めたといえる。
  - ・ イノシシを山に上げない方法はないのか。
- 早池峰地域への防鹿柵の設置結果について  
柵設置後の網の緩みや支柱の傾き等を原因とする柵内のシカの侵入対策として、県・ボランティアの協力のもと、メンテナンスを2回実施した。
- 現状と今後の取組み  
防鹿柵による希少種保護の取組みの現状と今後の取組を説明した。主な意見質問は次のとおり。
  - ・ 今後、対応方針を決める際は、環境省にも参加してもらい、環境省が全国で実施している実績と知見を早池峰山の環境保全対策にも生かしながら、有効な対策を行っていききたい。
  - ・ 早池峰地域には自然環境保全地域（環境省所管）及び特別天然記念物（教育委員会、文化庁）の指定区域があるので、それらを所管する機関と連携した対策を取ってもらいたい。

#### 【質疑応答】

- 細田会長（議長・岩手日報社）  
3つの部会についてそれぞれ報告がありました。質問意見等ありましたら御発言願います。
- 中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）  
何点か質問をしたいと思います。  
最初に、携帯トイレの管理を、県の事業を委託するのに、法人格がある団体でないとダメだということがないのかなという。  
岩手山の避難小屋については、国立公園の中ですけども、どんなふうに管理をお願いしているのか。あそこは私の理解だと、山岳スポーツライミング協会さんが常駐して、それから使用料もいただいて、あと、食事も簡単な食材を提供してお金を取っているというふうな運営していると思うんです。  
それって、避難小屋を誰が設置して、誰に管理責任があって、そして運営しているのが山岳スポーツライミング協会さんだっている、この関係はどうなっている。
- 酒井総括課長（自然保護課）  
基本的な考え方をすると、避難小屋そのものは誰の設置したものかという県が設置した施設です。  
県が設置した避難小屋ですけど、管理運営に関しては八幡平市さんに委託してい

ます。

八幡平市さんがさらにクライミング協会、登山団体の方々に委託して、協力金を取っていただいて、施設管理をしていただくというのが基本的な形態です。

(注)

八合目避難小屋と九合目不動平の避難小屋については、滝沢市から委託を受けて、岩手県山岳・スポーツクライミング協会が管理運営を行っている。

平笠不動避難小屋については、八幡平市から八幡平市山岳協会が委託を受けて管理運営を行っている。(八幡平市山岳協会は岩手県山岳・スポーツクライミング協会に加盟しており、管理しているメンバーの重複もある。)

共に岩手県から両市に管理運営を委託。

食材の提供販売については、現在、カップラーメンと珈琲等の飲料だけとなっている。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

そういう流れを早池峰では作れないのかなと。

○ 酒井総括課長（自然保護課）

協力金で実際にそれを運営できるような形で回せるかっていうところだと思いますね。

携帯トイレで今販売している 500 円って料金で回せばいいですけど、回せばその受けられそうな団体に、この金額でまわしていただきってお願いできますけど、例えばその運営費がどうしても必要になれば、500 円じゃなく例えば 700 円で売らなくてはならない。

そういうことも考えた上で、来年度よく検討しましょうっていうところまで、今年度の部会の話がそこまでいったってとこですね。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

そこに関して、もう 1 つ確認させていただきたい。スポーツクライミング協会の方に、他に予算をつけているとかそういうことはないですね。

○ 酒井総括課長（自然保護課）

基本的にはつけてない。協力金で賄っています。

○中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

シカの問題なんですけれども、やっぱり自然環境保全地域であるということでの環境省とか、特別天然記念物の地域であるということでも文化庁が、すごく重要な位置付けになると思うんですね。

全国的には、かなりのシカの問題が結構ありますから、かなりの実績と、知見の蓄積があるのではないかなと思います。

もっともっと集められる知見とかあるんじゃないか。よその地域ではどんな対策を立てて、どんな予算を取って、どういうふうにまわしてるかなんて辺りをもう少し広く情報収集したり、或いは環境省さんや文化庁さんに積極的に参画してもらえるところで、国の事業で何とか予算をつけるとか、そういった道筋をつけられないのかなと思っています。

本当にボランティア頼みっていうのが、岩手の場合はすごく目立つので、ボランティアも頑張って参加しますが、やっぱり最終的にはお金がないっていうふうになってしまって、網も広げられないっていう状況なので、そこを何とか打開する方法を考えなくちゃいけないな、いけないんじゃないかなというふうに、思いましたので、発言をさせていただきました。

計画のときに、ぜひ反映してもらえればと思います。

○ 田頭自然公園担当課長（自然保護課）

他の地域の情報については収集します。

自然環境保全地域は山頂付近に、環境省さんの所管もあるんですけど、あとは管

理している団体の方にもちょっと確認というか、お話をしなきゃいけないのかなというふうには思っております。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

交通規制に関してですけれども、先ほどの報告を聞いて、なかなか難しい問題があるんだなあとは思いつつ、今は8月1週目で交通規制終わっているんですけども、シャトルバスの運行を、（8月2週目に）山の日が入る連休があるので、出来れば1週間延ばせないってということと、9月、10月の3連休のときに、何とかこの規制かけられないかなってという要望があります。

ただ、先ほど、自動車部会の方もなかなか難しい問題があるなっていうのも、理解はするんですけど、何のために交通規制し、シャトルバスを運行しているかという根本的な問題を解決するためにはそこを考えないとダメなんじゃないかと思えますので、要望を言わせていただきました。

それからライドシェアについての意見が出ているんですけど、これをやる場合にも交通規制はかかるということですよ。

○松本主任主査（県南広域振興局保健福祉環境部）

そうですね。交通規制の期間を延ばした場合に、一般の方の交通手段がなくなるので、その代わりとして今はシャトルバスがあって、交通規制の期間を伸ばした分だけ、シャトルバスを、もし手当できないということになれば、シャトルバス以外の交通手段としてこのライドシェアが活用できないかを検討していきたいと思っています。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

一般の人がライドシェアであるコースを走らせるのはなかなかハードルが高い、安全面とか厳しいので、バスだけ走らせているということだと思います。

○細田会長（議長・岩手日報社）

ただいまの意見提案については、今後の部会で、課題として検討して頂くようお願いいたします。

## ウ 令和7年度早池峰地域保全対策事業実施計画

県南広域振興局保健福祉環境部の松本主任主査から資料5により説明。

### 【概要】

- 事前の広報活動、早池峰クリーン&グリーンキャンペーン、携帯トイレの普及促進、高山植物の保護・登山道対策、会長表彰及びボランティア活動の支援については、細かな変更はあるものの、概ね例年通り実施する。
- 自動車利用適正化、トイレ問題への取組及びシカ対策については、令和6年度の各部会の結果を反映して取り組む。

### 【質疑応答】

○細田会長（議長・岩手日報社）

一通り来年度の計画について説明がありましたが、意見・質問、また、来年度の計画についての提案等がありましたら、皆さんからご発言願います。

○上平氏（早池峰の未来を考える女性の会）

今、主要な登山道は、一本しかないような状況になっていて、非常に混みあって、登山道も荒れますし、登山者が殺到することになる。

北面も非常に魅力的な登山道だと思います。自然にしても南側とは全然違う植生ですし、ちょっとハードな、中級者向けというか、そういう登山道でもあります。

もう少しPRして、そちらに少し誘導できないかなと思います。例えばホームページなどに北面もいいですよみたいな形で誘導するとか。

6年度に私たちが北面にシカの調査で行った時は、非常にいい天気で紅葉の最中でしたが、その日には登山者1人でした。多分、南側だったら200~300人っていう

日だったと思います。何かもったいないっていう気がしました。

2点目です。携帯トイレの管理体制についてですが、これから来年度に向けて検討していくということですが、昨年の会議の時に民間委託、外部委託が中心のような議論になった気がして、そのあと、少しそれについて考えるところがあるんですが、新たな予算獲得が必要なような、民間委託や業者委託ということはちょっと早池峰には、合わないんじゃないかなと思います。

携帯トイレをやっているところでそういうところはありませんし、ましてや早池峰は、携帯トイレをいち早く導入して推進して、定着してきた山でもありますので、早池峰のそういうところを理解して、早池峰に関わりのあるボランティア団体とか山岳、関係者のようなところを中心にお願いするっていうのが、いいんじゃないかなと思っています。

今の状況でもガソリン代くらいは払えるような状況にあるんですが、民間委託というようなことになると、それではとてもやっていけないので。

3つ目、シカ対策ですが、やはり今のボランティア中心の防鹿柵に取り組んでいますが、協力はしていきますが、ちょっと体力的なこととか技術的なことと、難しい面もありますので国の関与の話が出ていますが、そこをもっと押していただいて、予算や補助を国のほうからしてもらえそうな、そして恒久的な鹿柵の設置も考えられないでしょうか。

特に山頂に近い場所になるとボランティアではどうにもならないので、そちらの方をぜひ、模索していただきたいと思います。

あと、他の県とかであるって聞いているんですが、特に山頂から中岳にかけてのあたりが良いかなと思うんですが、夏にハンターによる駆除のようなことも考えられないでしょうか。登山者はいったん止めて、ということも考えるような時期じゃないかなと思います。

植物が全部なくなってからでは遅いので、何とか取り組んで欲しいと思います。

○ 細田会長（議長・岩手日報社）

3点幅広いご提案いただきましたので、事務局の方から回答できるのであればお願いします。

○ 酒井総括課長（自然保護課）

すいません、ちょっとハンターによる駆除の部分だけ、ちょっと誤解がないように注意事項を申し上げさせていただきますけども、いわゆる狩猟ができるのは11月以降になっていますので、そういった時期に果たして早池峰で駆除できるのか当然考えなきゃなんないです。

あと、それ以外の時期に撃てるかって話になったときに、皆さんご案内の通り、早池峰の特に山頂部分ってのは、岩がゴロゴロしているところですので、そういったところだと当然、銃の発砲によって跳弾の可能性がございますので、猟友会さんからも、ああいったところでは銃の発砲はできませんと言われておりますので、ご意見としては伺いますけれども、ちょっと難しいと思います。

あと、恒久的な柵って話もありましたけども、自然環境がすごく厳しい場所ですので、莫大な経費をかけて、いわゆるその山頂にある避難小屋みたいなものを建てる限りは、恒久的な施設はやっぱりなかなか難しいと思います。これもご意見として承るといことになるかなと思います。

○ 田頭自然公園担当課長（自然保護課）

北側の門馬コースの話が先ほどありましたけども、北側のコースは宮古市さんが管理しているので、PRについては、宮古市さんと相談しながらということになるかと思います。

2番目の携帯トイレの管理体制ってことで、先ほど部会の方では外部委託っていうふうに傾きつつあったんですけど、上田さんおっしゃる通り、民間業者に頼もう

とすると、人件費のウェイトが大きいので、おそらく今のそのトイレの利益っていうことであれば、全く箸にも棒にもかからないってことになると思うので、今いただいた、ボランティアとか山岳協会のできるかどうかっていうのもちょっと併せて、外部委託は正直言って、事務局の方で難しいなとちょっと思っているの、ちょっと他の方法を模索させていただきたいなというふうに考えております。

○ 細田会長（議長・岩手日報社）

シカ対策について、国の方の関与をもっとお願いしたいという意見がありました。

○ 田頭自然公園担当課長（自然保護課）

先ほど酒井総括課長からもお話あったんですけど、国の補助の獲得っていう方法も確かにないわけではないんです。

生態系維持事業ということで、計画を見直せば補助を活用できるんですけども、先ほど酒井から話があったとおり、いずれ国の方に確認しますと、例えば、夏場に設置して、冬場に積雪でやられるから撤去するような、そういったものには交付金は使えないと言われてますんで、恒久的なものを作るには、例えば倒れないごつい支柱を何本も立ててやるとかっていう話になってくるので、実際工事の方も多分現実的でないと思います。

なので、国の方の補助金を獲得するっていうのは、なかなか現時点で難しいのかなというふうに考えています。

○ 中嶋氏（早池峰フォーラム実行委員会）

いろいろ難しい問題がある中で、これまでも自然保護課さん森林管理署さん、そして、私たちのようなボランティアが協力し合って、何とか進めてきたすべての対策について、シカに関しては一定の効果は確かにある。ただ、被害は抑えられていない。

この危機的な状況だということ、もっと広く県民の人に分かってもらうような、情報発信をしなければいけないと思っているんです。

国定公園であったり、森林生態系保護地域であったり、特別天然記念物であったり、環境保全地域であったり、なかなかこういうふうな、しっかり網がかかっている山は、全国的にも少ない存在だということ、その早池峰が今、シカで、或いはその他の問題でも、ちょっと危機的な状況になっているよっていうことをですね、もっと県民の皆さんに、認識していただくようなアクションが、今、もう必要だというふうに思っていますので、そのことをぜひ今後検討していただきたいなと思っています。

あと、先ほども言いましたが、どういうふうな事業展開ができるかわかりませんが、環境省と文科庁にはもっと力を発揮して欲しい。指定して終わりじゃなくて、ちゃんと意見を出したり、お金を出したりして欲しい。このことを県の方からも訴えるべきじゃないかなというふうに思っています。

最後に、山のてっぺんで発砲して捕獲するのは確かに難しいだろうと思いますが、シカもいつも山のてっぺんにいるわけじゃないですよ。森林地帯にも結構いるわけなので、今回ここにも「可能な限り捕獲を推進していく」と書いてありますので、例えば、この期間は早池峰で山麓を中心に一斉に鹿の捕獲をしますんで、登山はご遠慮くださいっていうの設けてもいいんじゃないかな、そしてやっていくってのも必要じゃないかなと思います。

今、岩手山は地震、火山の心配があるから人を入れていませんよね。それはできるんですよ。早池峰はシカが増えて困っているから、シカを減らしたいので、何日間か、入山は止めて、山麓を中心に捕獲を強化しますっていう、そういうアクションがあってもいいのではないかな。

フォーラムで参加された方から意見はそういう意見が多数でている。捕獲を強化

する、入れないようにするという仕組みをバージョンアップする必要があるということをお願いしたいと思います。

- 細田会長（議長・岩手日報社）

回答をお願いします。

- 酒井総括課長（自然保護課）

捕獲の強化の部分ですけれども、現状でも県の指定管理事業と市町村の有害捕獲で、早池峰に関しては年間1,400頭ほど目標として掲げています。現在の経費と労力でいくと多分、これを維持するのが多分限界かなと思っています。この形でまず捕獲圧を強めていきますし、あと猟友会さんの方でも、毎年12月に一斉捕獲ということで、こちらの方は猟友会さんのボランティアですけれども、早池峰山周辺で捕獲駆除にやっただいておられますので、そういった意味でこれまでも強化するというか、強化をしておりますので、これは引き続き取り組みたいと思います。

規制の関係ですけど、ごめんなさい、火山の防災の方の話と、シカ対策は同列には議論できないものなので、ご意見として承りますということですのでよろしいでしょうか。

- 細田会長（議長・岩手日報社）

現状についてもっと情報発信してほしいという意見については、何かできることはありますか。

- 田頭自然公園担当課長（自然保護課）

参考に検討させていただきます。

#### エ 令和7年度早池峰地域保全対策関係功労者表彰候補者について

県南広域振興局保健福祉環境部の松本主任主査から資料6により報告。

##### 【概要】

- 推薦者の選定基準について説明。
- 各構成員から推薦がなかったため、令和7表彰候補者なしとする事務局案を提示。
- 質問・意見はなく、事務局案のとおり承認。

#### オ 早池峰地域保全対策事業推進協議会設置要領の改正について

県南広域振興局保健福祉環境部の松本主任主査から資料7により報告。

##### 【概要】

- 設置要領改正(案)の内容について説明。
  - ・ 一般社団法人日本旅行業協会の支部組織の改編等にともない、構成員の所属名の変更を行おうとするもの。
  - ・ 花巻市の機構改革にともない、構成員の役職名の変更を行おうとするもの。
- 質問・意見はなく、事務局案のとおり承認。

#### (4) 閉会

県南広域振興局保健福祉環境部（事務局）奥村環境衛生課長により閉会を宣言。

---

#### (補足) 資料3 早池峰地域自然環境保全対策検討部会の報告について

標記資料のうち、資料3-2の2ページに記載した「課題3」について、携帯トイレの販売価格は、実際のところは300円で仕入れて、200円利益を上乗せして、販売価格500円として販売しているもの。